

PBS、トヨタ自動車と “植物と共生する空間が人間にもたらす効果”に関する 共同研究を開始

— より高度な科学的検証に基づく「コモレビズ 2.0」への進化を目指す —

パソナ・パナソニック ビジネスサービス株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 青山光洋、以下「PBS」）は、健康経営ソリューション『COMORE BIZ』（以下「コモレビズ」）の更なるサービス向上を目的に、トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、代表取締役社長 豊田章男、以下「トヨタ自動車」）と共同で、植物と共生する空間が人間にもたらす効果について科学的な解明を目指す研究を行うこととなりました。

<背景>

PBSは、職場環境（ワークスペース）をより人間に最適な自然環境（ライトスペース）に近づける“バイオフィリックデザイン”に基づいた健康経営ソリューション「コモレビズ」の提供を通じて、生産性が高くストレスの少ない快適なオフィス環境の実現を目指しています。

トヨタ自動車は、従来の自動車以外の新しい価値創造のため様々な基盤研究を行っています。その一つとして人の健康や心身機能の維持向上に寄与する空間設計の研究に取り組んでいます。

両社は、将来ますます重要性が高まると考えられる人が心身ともに健康に過ごせる“**Well-being**（ウェルビーイング）”の面を重視した空間作りにおいて、複雑で多様な要素をもつ植物を主体としたバイオフィリックデザインが重要な役割を果たすのではないかと考え、植物と共生する空間が人間にもたらす効果について科学的な解明を目指す共同研究を開始することとなりました。

<主な研究テーマ>

◆ バイオフィリックデザイン空間における定量的な設計指針の確立

- 植物が人に与える主観的指標（柔らかさ、暖かみなど）、および、植物自体の物理的指標（形状、表面状態など）を定量評価し、これらの結果の相関関係を見える化する
- 「あたかも自然の森林の中にいるように感じられる」空間設計について定量評価する手法を開発する



バイオフィリックデザイン空間の一例

◆ バイオフィリックデザイン空間が人に与える影響の評価

バイオフィリックデザイン空間が、ストレスや、疲労の感じ方などにおいて、人間にどのような効果をもたらすかを主観的指標や心拍データ、ストレス試験などで評価する。

<目指すべき姿>

PBSは、国内有数の研究機関をもつトヨタ自動車と共同研究を行うことで、植物が人にもたらす効果を科学的に明らかにし、2020年代前半までに、従来の「コモレビズ」を進化させた「コモレビズ 2.0」として、より高度な科学的検証に基いたサービスの提供に繋げていく予定です。

<共同研究における実験空間>

トヨタ自動車 未来創生センターが保有する太陽光型環境制御温室（バイオトロン）を活用し、バイオフィリックデザインに基づいた複数の実験空間を製作しました（下図）。



疲労感軽減が期待される植物



集中力アップが期待される植物



活力アップが期待される植物

今回の試験空間に導入した植物群に期待される効果（一例）

※本共同研究における植物選定ならびに空間デザイン・空間設計は、PBS およびトヨタ自動車が株式会社パーク・コーポレーションの parkERs と協力の上で行います。

■PBS 代表取締役副社長 岩月隆一氏 コメント

「トヨタ自動車の持つ研究の知見とコモレビズがオフィス向けに培ってきたナレッジの融合による<人と植物が共生する空間要素の科学的解明>につなげ、未来に向むけて「新しい空間価値」を見い出したと考えています。将来的には、自然界で享受できる心身浄化作用を人工空間において科学的精緻に再現するライトプレイス（人間に最適な自然環境）の提供を目指しています。人が抱える疲労・ストレス問題などの改善・解決による健康経営への寄与はもとより、プレゼンティイズムロス、パフォーマンスの向上に繋がられればと思います。あらゆる人が、より良いコンディションで心身ともに健康的な生活を過ごす事ができる空間を提供する事で、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。」

トヨタ自動車 未来創生センター センター基盤研究室長 川口俊哉氏 コメント

「近い将来、自動運転や IoT の技術が高度化するにつれて、モビリティの価値はクルマのみならず社会基盤や私達の暮らしへ広がっていくと考えており、そのような社会では、人々がより心身ともに良好な状態であること、即ち“Well-being”が求められると予測しています。今回の共同研究では、これまでに培ってきたバイオテクノロジーなどの知見も活かしながら、PBS の空間づくりの技術とのシナジーによって、新価値創造の基盤技術を確立できることを期待しています。」

詳しくは、コモレビズのホームページでもご確認いただけます。

<https://www.pasona-pbs.co.jp/comorebiz/rd/>

**「コモレビズ」とは**

コモレビズは、ワークスペース（職場環境）をライトスペース（人間に最適な自然環境）に近づける「バイオフィリア」理論で健康経営を促進し、持続可能な日本の未来に貢献します。バイオフィリアを具現化するバイオフィリックデザインとは、人工的な環境下において、人と自然のつながりを創造し、人の健康と幸福を向上させる空間デザインです。コモレビズでは、ストレス軽減につながる最適な「緑視率」（人の視界に占める観葉植物の割合。植物の多さを示す指標）が 10～15%という実証実験結果と独自の植物データベースに基づき、顧客企業のニーズに応じたオフィス空間をデザインし、導入後の効果測定をストレスの数値化により提供します。コモレビズのバイオフィリック・ソリューションは、ワークスペースの概念を変え、働く人と企業のウェルビーイングに貢献し、生産性の向上を促進します。コモレビズは、パソナ・パナソニック ビジネスサービス株式会社が展開する事業です。

ホームページ：<https://www.pasona-pbs.co.jp/comorebiz/>

コモレビズ導入事例：<https://www.pasona-pbs.co.jp/comorebiz/case/>

会社概要

パソナ・パナソニック ビジネスサービス株式会社は、総務機能のアウトソースを請け負う BPO（Business Process Outsourcing）会社として、さまざまな企業へ「戦略的総務」の観点から、コモレビズを含む高付加価値サービスを展開しています。

会社名： パソナ・パナソニック ビジネスサービス株式会社

代表者： 代表取締役社長 青山 光洋

代表取締役副社長 岩月 隆一

所在地： 大阪市中央区北浜東 4 番 33 号 北浜 NEXU BUILD（北浜ネクスビル）

設立： 1987 年 10 月 1 日

資本金： 2,000 万円

ホームページ：<https://www.pasona-pbs.co.jp/>

▼報道関係者からのお問合せ

株式会社パソナグループ 広報部
担当 森川

Tel： 03-6734-0215

E-mail：p.kohoshitsu@pasonagroup.co.jp